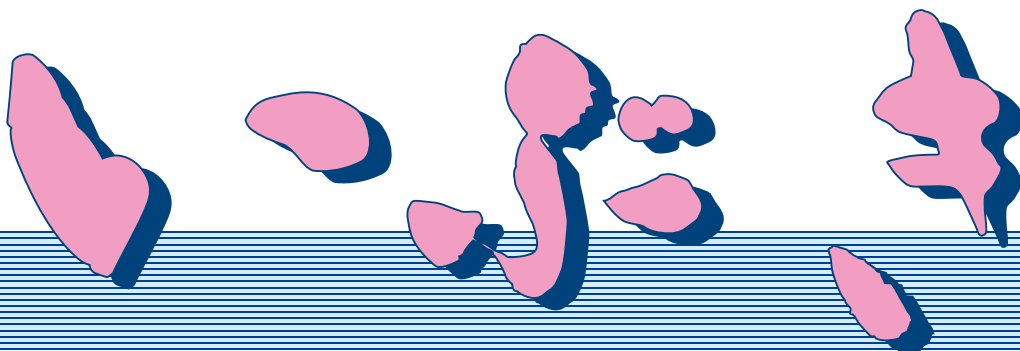


月刊



編集発行 一般社団法人 西宮市老人クラブ連合会 〒663-8233 西宮市津門川町2-28 福祉会館内 ☎0798-34-3334

1,500人 会員増強運動



高知県宿毛市咸陽島公園からの夕日 写真と文 田中 積氏 (用海校区)

冷え込み厳しい冬の朝夕
海面からの水蒸気と上空の冷気で
光の屈折(蜃気楼現象)が起こり
太陽が歪んで見える
この希少なダルマ太陽に出会えば
幸運が訪れるという



日本語の表現には、
「あいまい」や「ほかし」が多い。
「ちよつと」とか「一応」のように、文の

初めに置かれる枕詞が「ほかし」の基であるが、文中の「でも」や「か」も使い方によってニュアンスが大きく異なる。▼「お茶でも飲みましょうか」と「お茶を飲みましょうか」では「を」を用いると選択の幅が限られる。▼「どこか具合でもあったの」「何かいい事でもあったの」「何かいい事あったの」と言うより受け手にとっては雰囲気ぐっと変わる。▼このところ立场上、「老人クラブに入会してください」よりも「老人クラブにでも入って一緒に楽しいひと時を持ちませんか」と柔らかな会話口調を心がけている。

(瓦木 荒巻)



市老連理事会

1月報告
2月議案書

◆市老連理事会 (1/10) 報告

【議案事項】

- 1.平成30年度のプロジェクトチームについて
- 2.社員総会の日程および会場について

【報告事項】

〈広報部〉

- ・L版「いぶき」(64号1月号)送付済

- ・委員会の開催 (2月28日水)〈文化教養部〉

- ・カラオケ教室の開催

(2月2日、9日、16日、各金)

- ・委員会の開催 (2月22日木)〈体育部〉

- ・委員会の開催 (1月17日水)〈女性部〉

- ・委員会の開催 (2月21日水)〈事務局〉

- ・ことぶき研修バス (7月分)の割当
- ・新年互礼会の会場レイアウト図について
- ・ことぶき研修バスの行き先などの相談会開催について

3月1日(木)西宮老人福祉センター第4集会室

- ・神戸新聞から「平成30年度金婚夫婦祝福式典」のご案内
- 5月13日(日)アミティホール
- ・兵庫県弁護士会阪神支部から「無料法律相談」のご案内

◆市老連理事会 (2/14) 議案書

※西宮市から「西宮いきいき体操」について(報告)

※西宮市から「平成29年度老人クラブ補助事業等実績報告書」の提出について

【議案事項】

- 1.平成30年度のプロジェクトチームについて(継続)
- 2.平成29年度事業報告(案)・平成30年度事業計画(案)について
- 3.平成30年度館外研修について

(事務局)

- ・ことぶき研修バス (8月分)の割当

- ・平成30年度市長表彰等候補者の推薦について

- ・平成30年度年間行事予定表の修正について
- ※次回定例理事会等

3月14日(水) 西宮老人福祉センター

三役会 午前10時

理事会 午後1時30分

プロジェクト会議 午後3時

金婚夫婦祝福式典(金婚式) ご案内

- 【日時】 平成30年5月13日(日) 午後1時～
- 【場所】 西宮市民会館アミティホール
- 【主催】 神戸新聞社
- 【対象】 昭和44(1969)年婚姻(または挙式)のご夫婦
- 【費用】 無料
- 【内容】 宮司による神事、記念写真撮影、記念品
- 【申込】 各クラブ配布の申込み用紙に記入、神戸新聞販売店か阪神総局へ持参、あるいは本社への郵送等で(詳細は申込み用紙に記載)。
- 【締切】 2月28日(水)必着(先着順)

◎お問い合わせは神戸新聞社地域活動局 (☎078-362-7086) まで

2・3・4月の行事予定

2月2日、9日、16日各(金)	カラオケ教室	13:00
14日(水)	三役会 理事会 西宮市との定例協議	10:00 13:30 15:00
3月14日(水)	三役会 理事会 プロジェクト会議	10:00 13:30 15:00
4月11日(水)	三役会 理事会 プロジェクト会議	10:00 13:30 15:00
18日(水)	臨時三役会	10:00

《お詫びと訂正》

1月に発行致しました「L版いぶき」第64号2面掲載の「表彰報告〈兵庫県老人クラブ連合会会長表彰・感謝〉」の中で優良老人クラブの所属校区名に誤りがありました。

誤 上甲子園長寿会

(上甲子園校区)

正 上甲子園長寿会

(春風校区)

また、4面「楽しいボウリングの集い」のインタビュ記事でお名前に誤りがありました。

誤 塚本 達子さん(春風校区)

正 塚元 達子さん(春風校区)

お詫びして訂正いたします。

老人クラブ連合会

校区会長便り

No.51

上野神社社傳と神事

春風校区上野野田町老人会
広報部 浅井昭佑

度重なる大火に遭い創建年代は詳らかでないが、社傳に依ると中世「鎌倉時代」に疫病が流行した時に上野の長老に神がかりの神託があり、「此の上野淨地に神籬を設け日毎に三十番神を崇め奉りて其の主神に供饌くせんなし祈願をなす時は萬腦に苦しむ事なかる可」と、直ぐに上野の森に神籬を設け奉齋すると、奇瑞現れ疫病が消散した



1/14 とんど焼火入れ式

りと伝えられている。当神社はこの時代に創建されたものと思われる。

1月1日歳旦祭、宮司と氏子総代による新年の祝詞奏上と、参拝者には御火焚祭「福火」で温めたお神酒を拝受所で振る舞う。1月14日どんど焼き、正月飾り・古札・しめ縄・書初めなどを焼くのは、正月に天から来られた歳神様がどんど焼きの煙に乗って天に帰られるとされている。4月18日春祭り、稲荷社の砂持ち神事、豊作祈願と年に一度氏子一般が、共に日毎参拝して足に付けて出る清砂を返す意味で、農家総出で川砂を運び入れる。7月13日夏祭り「夏越大祓」茅の輪潜りと地元福祉会と有志による夜店で近隣住民の親



10/13秋祭り

睦を図る。10月13日秋祭り、子供神輿の練り歩きと餅つき大会。12月31日、年越大祓いと大晦日御火焚き祭、秋の収穫に感謝し厄除けなどを人形に願いつつ諸々の願を祈願する行事。

心のひろば



自転車の交通安全
を指して

《ゆっくりだ・
待つ心》

広田校区能登長楽会

会長 片山 實

自転車での外出の折、交差点で信号待ち、踏切での遮断機待ちと続いたら誰でもが苛立ってくる。その上、駅のホームの乗車寸前でドアの締め出しときたら、もう頭にくる!...この経験は誰にでもよ

くある事ですよね。ちょっと待たされた僅かな時間、大小の差はあれど苛立ちます。ましてや急用の時地団駄を踏む。そして出てくる言葉はチエー!しもた!畜生!とかよく捨てばちが出てくるものです。思うにこの瞬間の心の営みは正にストレスそのものです。これが問題です。「万病はストレスに関係のないものはない」と医学者から聞いたことがあるが、全く同感です。すぐ忘れ去ってしまうような小さなストレスでも何も残

らないかと思いきや、さに非ず「忘れ去っただけで消え去ったのではない」と、この事が分かってからある営みを実行して数年になりました。それは「待つ心」でした。日々苛立つストレスに直面した時、自分の口の中で小さい声で一言、待つ心、待つ心、待つ心と何回か言ってみる事です。不思議に心が落ち着き胸がスーと軽くなるのを覚えました。何人かに話すと、やってみた人から良かったよと聞き、気を良く

していたのですが、その後時々ひやーとするような事に遭いましたが、道中でもこの言葉を言うことによってこれで安全と感じてからは、今は一言、二言が習慣になりました。今回改めて思うに、市の「自転車の交通安全利用五則」を心として根底において運転の現実には、「ゆっくりだ・待つ心」をどちらが先でも良いから小さい声で発すのが今や生活習慣となりました。如何でしょうか。

第4回歌声喫茶

上ヶ原校区老人クラブ連合会
広報 豊島 紀子

上ヶ原校区老連の主な活動は、1月と7月の年2回会報誌「年輪」の発行と、年1回手芸の講習会を実施しています。13単老の会員さんが交流して、情報交換が出来、絆も深まっています。

今回は、昭和30年代に盛んだった「歌声喫茶」を、昨年9月29日開学前のカフェで初めて開催しました。チラシや歌集、お茶券を作成したりと、準備は主に女性役員

校区老連だより

多世代交流会に初参加

(29・11・25)

用海校区老人クラブ連合会
女性部部长 岡脇 英子

用海校区で毎年冬休み前に開催している「用海子どもフェスティバル」。各町や各団体など地区総出で、いろいろな模擬店やスポーツ、ゲームなど親子が1日楽しむ催しに、用海老連女性部が今回初めて参加しました。

チラシとビーズで作る首飾りの手作り教室です。開始の合図と

で頑張りました。当日の参加者は約70名です。最高齢は92歳！75歳以上の方が70%以上占めています。ケーキと飲み物、歌集が配られ、細見会長が挨拶された後、



オープニング曲「東京ラブソデイ」の大合唱です。満席の店内は、大音響と熱気に溢れました。「湖畔の宿」「柿木坂の家」など超懐メロから「ラブユー東京」「雨に咲く花」など昭和の流行歌。70〜80年代には青春時代が一気に蘇ってきました。

お得意の曲を、前に出て歌う人、初めてマイクで歌う人、大きな声、小さい声：会場は最高潮に盛り上がりました。

もに低学年の子どもたちが親子で熱心に作り始めました。お父さんと仲良く作る女の子や、母親や姉のプレゼントにしたいと男子児童が一生懸命作る姿は微笑ましく、手助けする私たち会員12名も張り切って対応しました。用意した100セットが開催時間内に全てなくなりホッとしました。

この企画のヒントは市老連女性部で研修した作品を、校区女性部の皆で作りました。これならフェスティバルに参加できるかなと提案しました。



様々なジャンルから選曲した全28曲の最後は、「365歩のマーチ」皆さんイキイキとした笑顔で楽しそうに歌って、2時間が瞬く間に過ぎた感動の1日でした。
リードボーカルとピアノ伴奏は50代の若い女性で、知らない曲が半分くらいあったと聞き、世代の差を感じた次第です。



北夙川校区 北楽友会
河瀬喜和子

◆短歌

新年に孫達集いながやかに
次いつ会える？ 五月かお盆に
信頼のたすき繫げし若人よ
箱根駅伝テレビの前で

編集後記

「夏が暑いと冬は寒くなる」の言葉通り今冬も寒波襲来でした。厳しい寒さに耐えて花を咲かせる梅は春を迎えに行く花と言われています。梅の香を求めてお花見に出かけてみませんか。春はもうすぐです。